

「大地の作り」をわかりやすく解説 (期末テスト対策ポイント)

大地のつくり

教科書の説明

がけを見ると、地面の下がどのようなようすになっているか、分かることがある。

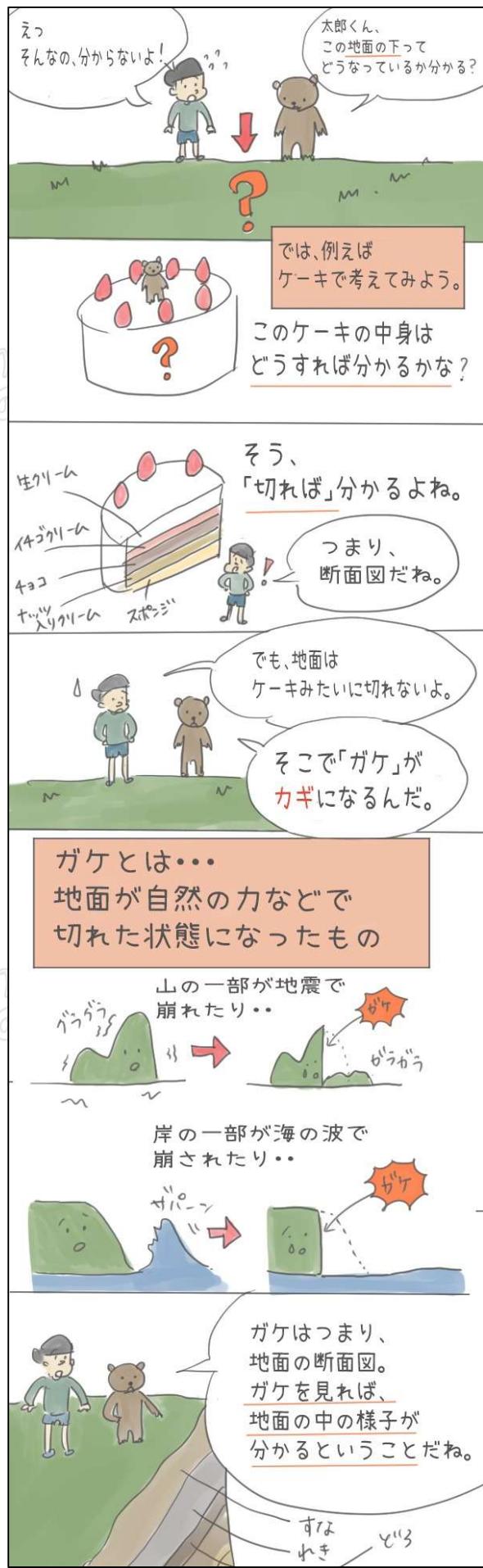
がけには、しま模様がみられることがある。

がけがしま模様になって見られるのは、「れき」「砂」「どろ」「火山灰」などが層になって積み重なっているからである。

このように層が重なっているものを「地層」と呼ぶ。

教科書には「がけを見ると、地面の下がどのようなようすになっているか、分かることがある。」と書かれても、言葉だけだとよくわからないね。どういうことか漫画で説明するよ！





ふつう、地面の中の様子なんてわからないけれど、「がけ」は地面が切れているところだから、地面の断面図が見えるんだね。
だから、「がけ」では地面の中の様子が分かるということだね！

教科書の「がけがしま模様になって見られるのは、「れき」「砂」「どろ」「火山灰」などが層になって積み重なっているからである。」とはどういうことだろう？

これもケーキの例で考えればカンタン。

ケーキの断面図もしま模様だよね。

これって、「イチゴクリーム」や「チョコクリーム」、「スポンジ」などが層になって積み重なっているからだよね。

地面の中も、「れき」や「砂」、「どろ」や「火山灰」というものが積み重なって出来ているからしま模様に見えるんだね。

「れき」とか「火山灰」って何？？

「砂」や「どろ」はよく見るから分かるけれど、「れき」や「火山灰」はピンとくるかな？

- 「れき」とは、「小さい石」のこと。
「砂」と比べて大きい（粒の直径が2mm以上）ものを「れき」と呼ぶんだ。
- 「火山灰」とは、「火山」の「灰」と書くけど、紙などを燃やして出来る「灰」とは違うよ。
火山灰は、「火山から噴き出してきた細かい破片」のことなんだ。



では、教科書の「このように層が重なっているものを「地層」と呼ぶ。」はどういうことだろう？

これもカンタンだね。

ケーキの中身だって、「生クリームやイチゴクリーム、チョコクリームなど何層にも重なった豪華なケーキ」なんて言ったりするよね。

つまり、生クリームやイチゴクリームなどが層になって重なっているのは「ケーキの層」なんだよね。

それと同じ。

地面の中も、「砂」や「れき」、「どろ」や「火山灰」が層になって重なっているんだから、これを「地面の層」ということで、「地層」と呼ぶんだよ。



6年生はココを押さえればOK！「大地のつくり」

「大地のつくり」まとめ

- ・ 「**がけ**」とは、地面が自然の力などで切り崩されたもの。
- ・ 地面の中の様子は、「**がけ**」を見ると分かることがある。
- ・ 地面の中には、「**砂**」「**れき**」「**どろ**」「**火山灰**」などが**層**になって積み重なっているものがある。
- ・ 「**砂**」「**れき**」「**どろ**」「**火山灰**」などが層になって**しま模様**に見えることがある。
- ・ 「**砂**」「**れき**」「**どろ**」「**火山灰**」などが層になって出来たものを、

